

七月一日

世田谷村市場は要するに開放系デザイン市場である。ホーム・ページの読者は皆市場への来訪者だと勝手に自覚して展開してゆきたい。私の古典的な友人の数は少ない。残りわずかだと言つて良い位だ。それに対するにインターネットを介して得る知り合いは、私の新しい時代の友人だと考えてしまう事にしよう。MEMO連載第5回セルフ・ビルド、一ノ関ベシーを書く。同誌には鈴木博之が、「場所に聞く 世界の中の記憶」をすでに10回連載している。だから、という訳でもないが、手は抜けない。マア、この年になって何事も手抜きは命取りになりかねぬのは確かであるな。GA杉田君と住宅その他の発表の件で話し合う。

七月二日

ベシー論一応書き上げた。散逸した風のモノになつたが私の開放系技術論は一步前へ進んだと思う。人間の自由の不可能性の時代への戦略として論は進められるだろう。世田谷村市場最新商品二点のアルミ製照明器具は、ようやくプロダクトと呼べる水準に辿り着いたと言いたい自信作である。開放系技術・デザインの考えが少し日常生活用品のレベルで表現できるようになった。

鈴木隆之君より「東京激安的住居」とやらのオープンハウスの案内をいただく。健在なようで何よりだ。世田谷村の程近くなのでいつか見てみよう。私と似たような事やってるんだ。珍しいね。

住宅が幾つか出来上がるので秋には面白くプレゼンテーションしたいと思ひ藤塚光政に相談の電話をする。資料をとりそろえて話し合う事になる。淡路の山田脩二とも電話で話す。Gスタジオ修了後、藤江和子さん来室。自作の最新作品パンフをいただく。大版で美しいものだった。モノマガジンをパラパラ繰っていたら九州の高木正三郎の顔が突然出現したので驚いた。色んな風に頑張っているんだ。